

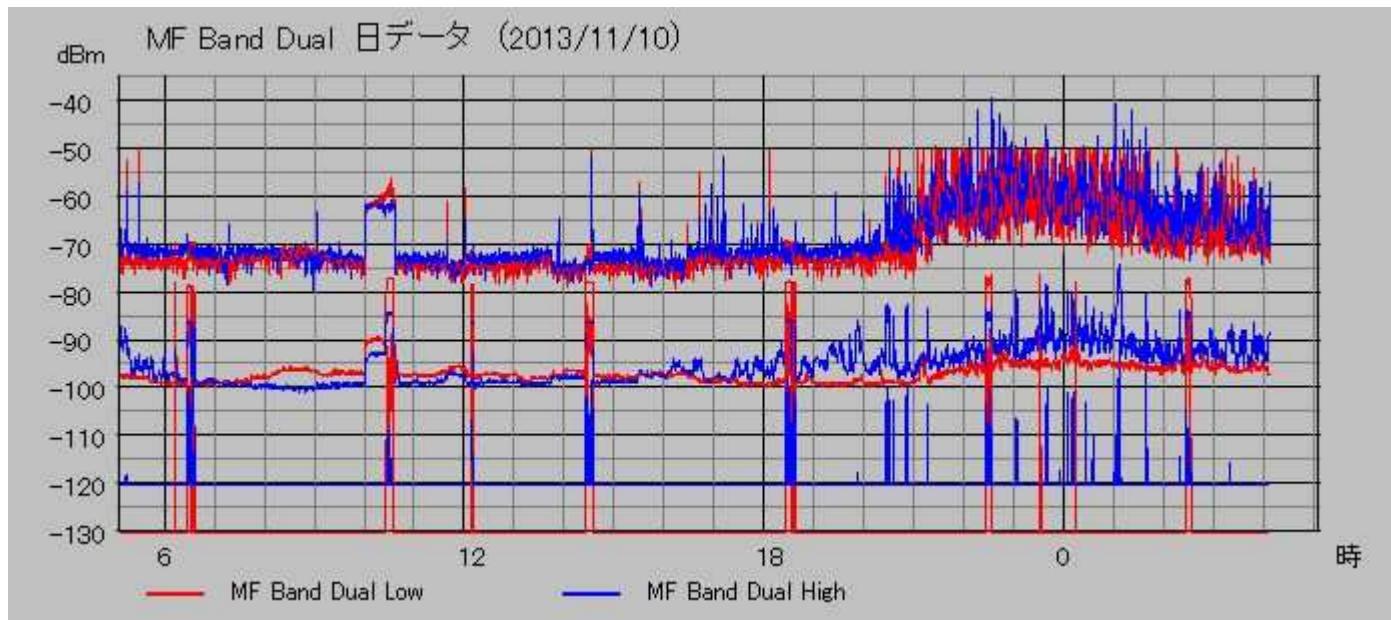
異常データと発生地震検証

H25.11.20

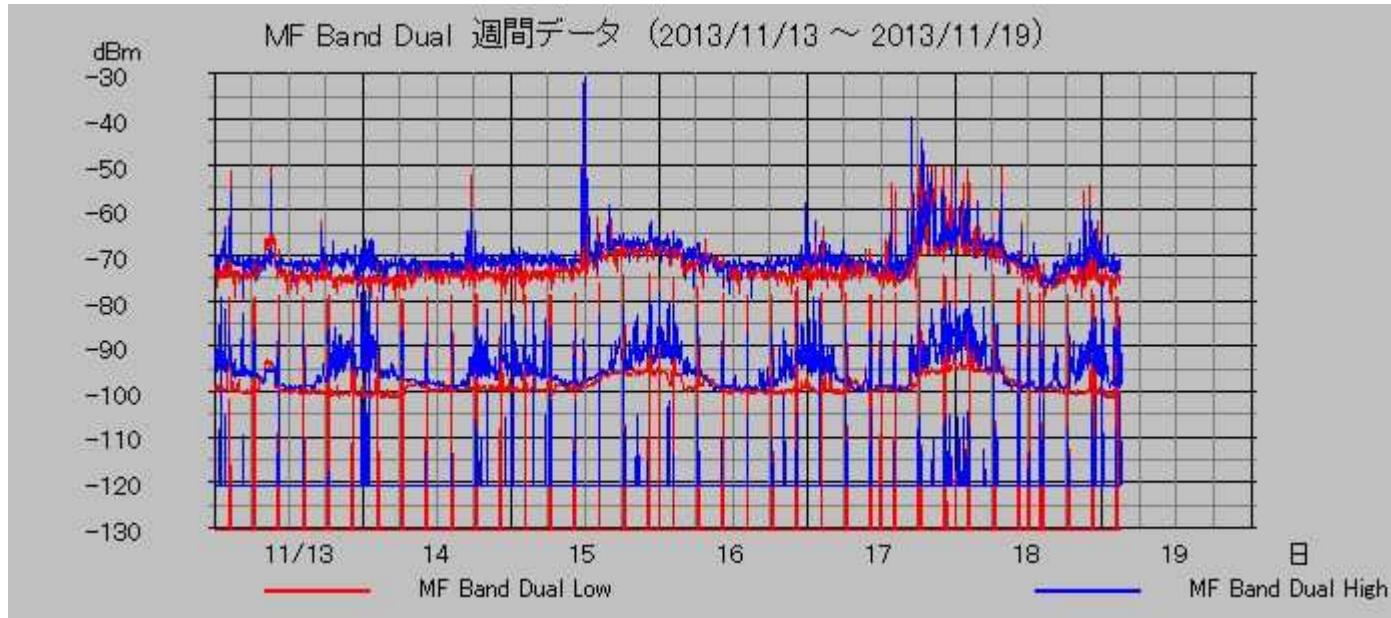
環境防災研究会

1. 2013/11/10～11 函南観測点 MF 帯 2 周波同時観測異常

- 瞬間最大値は約 20dB、平均値は約 7dB 上昇した

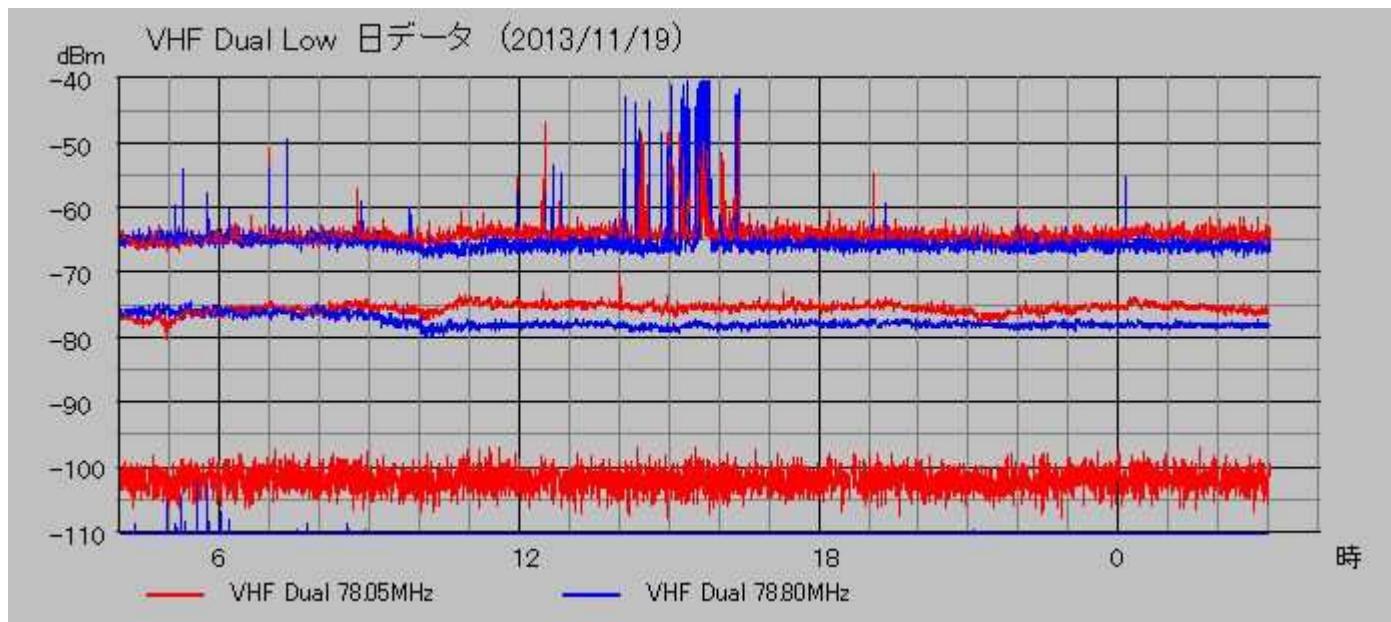


2. その後 2013/11/17～18 にも異常を観測した



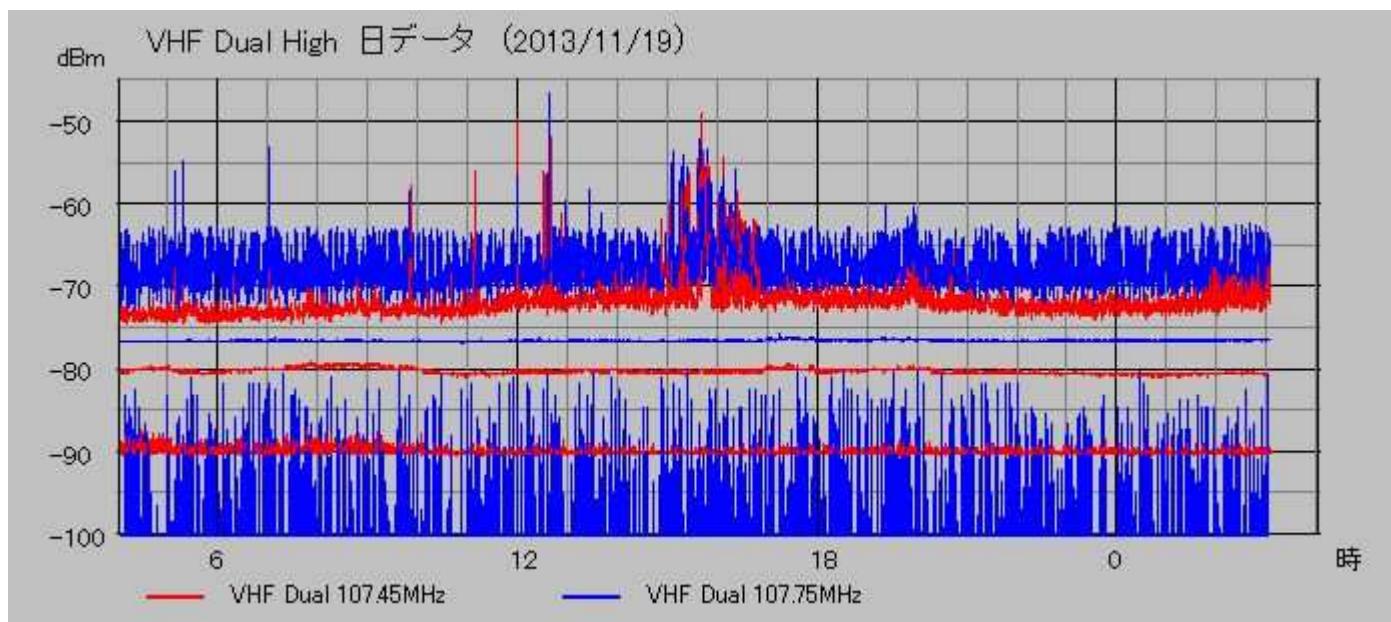
3. 2013/11/19 函南観測点 VHF 帯低域 2 周波同時観測異常

- 瞬間最大値は約 20dB 上昇、平均値の上昇は見られなかった



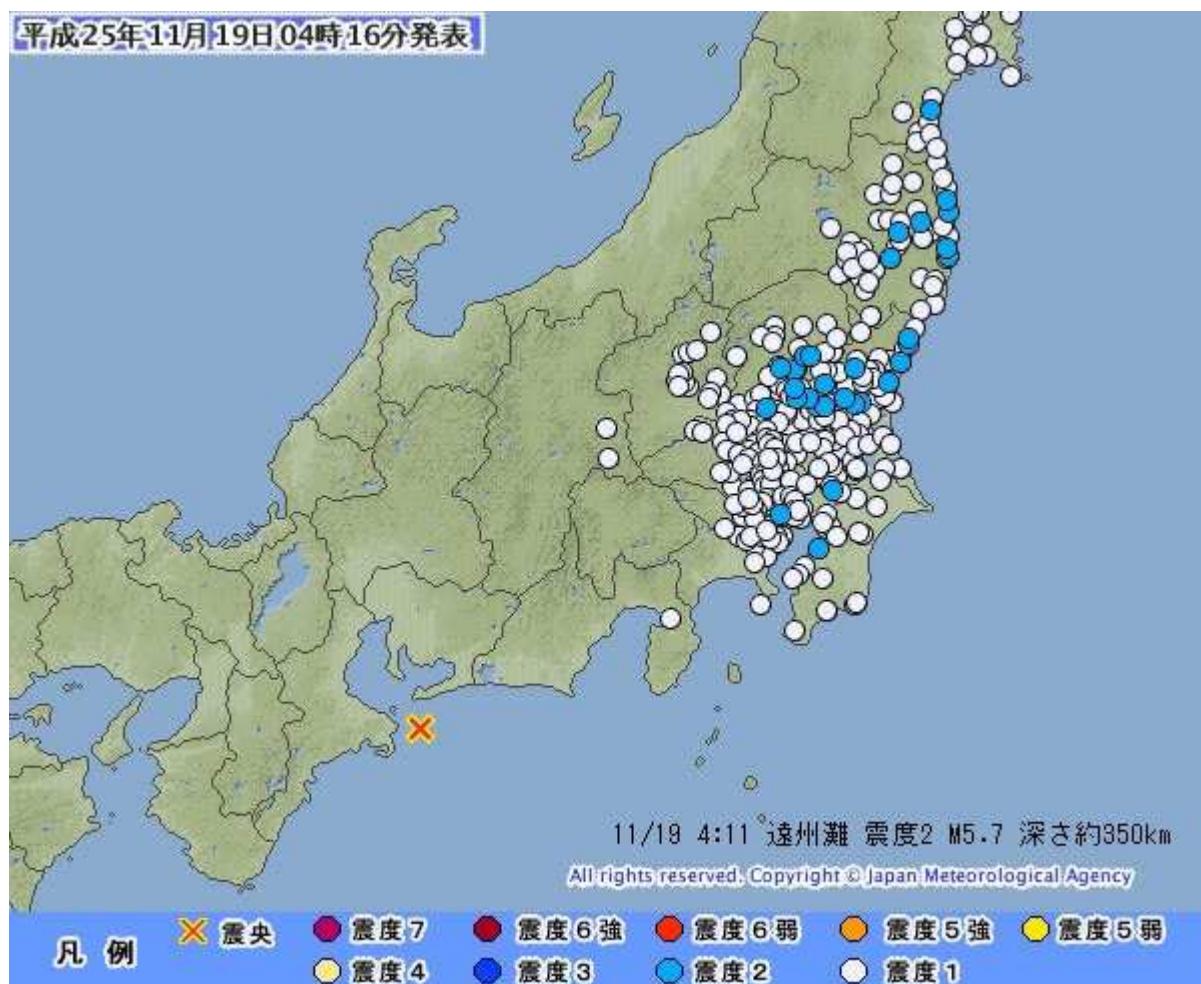
4. 2013/11/19 同時刻の函南観測点 VHF 帯高域 2 周波同時観測異常

- 瞬間最大値は約 20dB 上昇、平均値の上昇は見られなかった



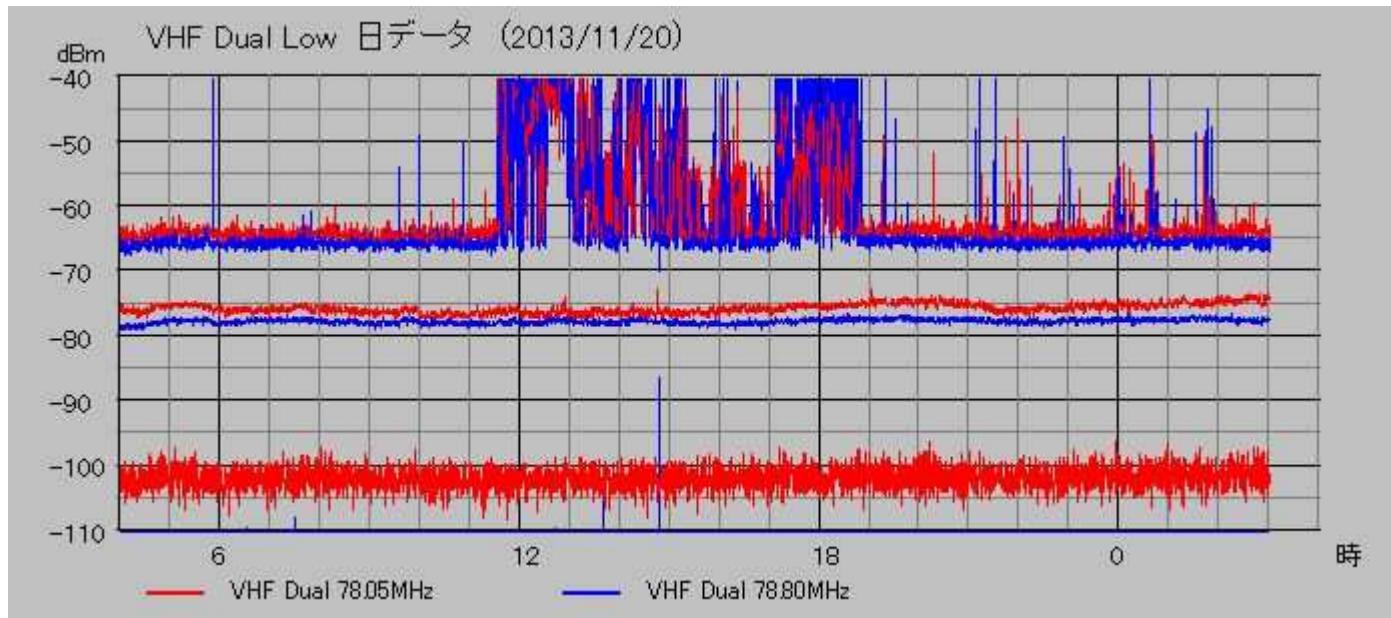
5. 2013/11/19 4:11 遠州灘にて M5.7 が発生

- 震源が約 359 kmと深く、プレートの構造のためか震央から離れた地域の震度が大きかった



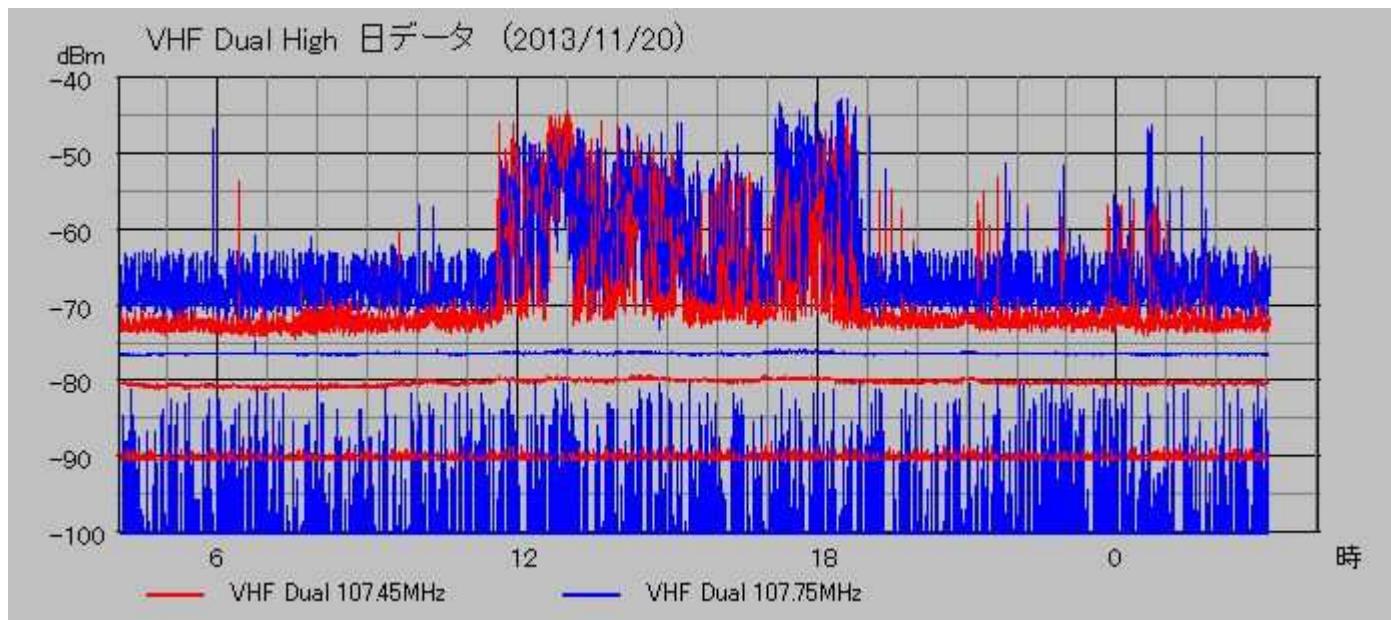
6. 地震発生後 2013/11/20 函南観測点 VHF 帯低域 2 周波同時観測異常

- ・瞬間最大値は約 30dB 以上上昇、平均値の上昇は見られなかった
- ・地震発生後に異常が起こることは自然現象のためありうると考えられる
- ・過去にも地震と同時及び地震後の例が広島市立大学吉田教授、東京学芸大学鴨川博士の論文にて報告がなされた



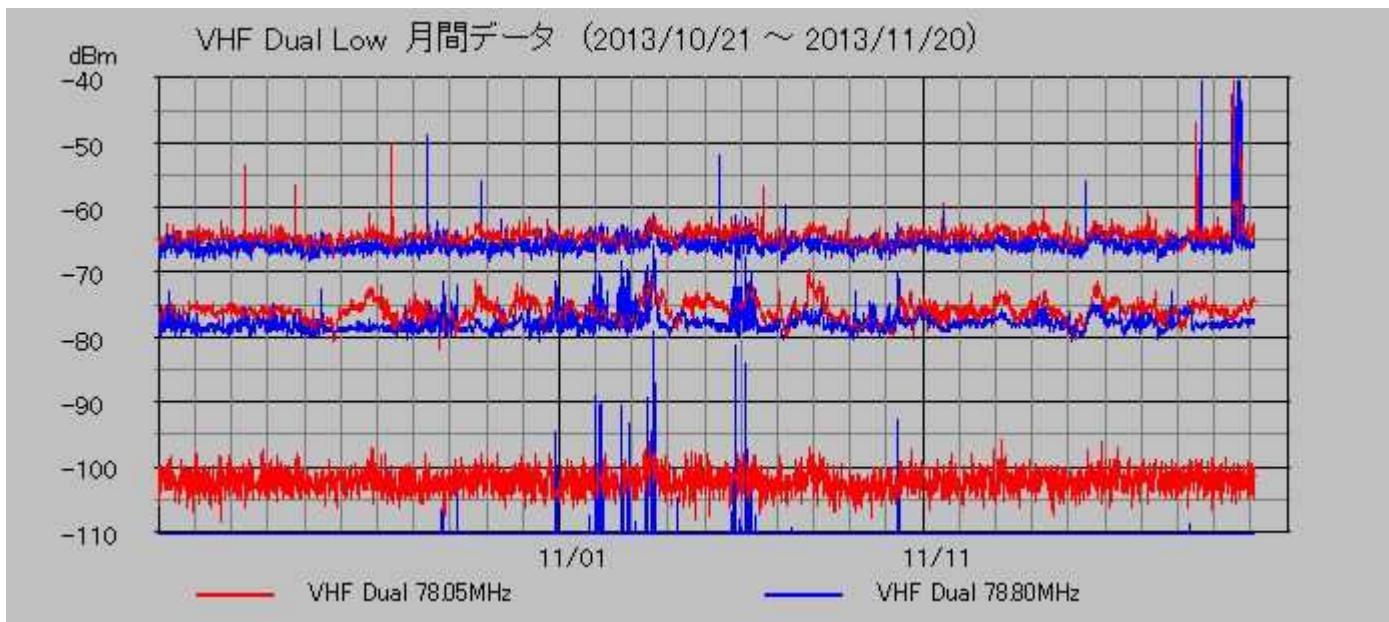
7. 地震発生後 2013/11/20 函南観測点 VHF 帯高域 2 周波同時観測異常

- ・瞬間最大値は約 25dB 以上上昇、平均値の上昇は見られなかった



8. 2013/11/20までの1か月間 函南観測点 VHF帯低域2周波同時観測データ

- ・概ね静穩であった



9. 2013/11/20までの1か月間 函南観測点 VHF帯高域2周波同時観測データ

- ・概ね静穩であった

